

全国大会の好成績を報告

佐野高校・同附属中学生徒



【佐野】今夏、全国大会に出場、見事入賞を果たした県立佐野高校および同附属中学校の生徒が、9月1日、佐野市役所を訪れ、金子裕佐野市長に結果報告を行った。

報告会では、入賞した5人の生徒たちが、それぞれ、大会を振り返り、感想や今後の抱負、目標を語った。

金子市長は「選手みなさん、おめでとうございます。皆さんの活躍は、佐野を全国にアピールすることにもつながります。これからも、支えてくれる家族や先生方など、周囲の人たちへの感謝を忘れずに頑張ってください」と活躍をたたえ、入賞選手と報告コメント

【将棋】「第35回全国高等学校将棋竜王戦」準優勝＝竹熊悠さん（高3）「これまで、全国大会ではベスト8が最高成績でしたが、竜王戦という最高の舞台で躍進できてうれしかった。昨年、一昨年とコロナの影響で中止となり、まず、舞台に立てたことが喜びでした。途中まではリラックスして臨めましたが、決勝戦は、あこがれのプロ棋士が立会人で、また、別室で解説もしてくれるとあって緊張しましたが、素晴らしい経験になりました。今後は、大学生になっても、将棋を続け、大きな大会にも挑戦したいと思っています」。「第43回全国中学校選抜将棋選手権大会」3位＝石原橙真さん（中3）「昨年は同じ大会でベスト8でしたが、今年は入賞できて良かったです。高校生になって、全国に行けるよう頑張ります」。

【ボート】「令和4年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会」3位＝藤倉望妃さん（高3）堀越紅羽さん（同）「昨年は全国大会予選で敗れてしまい、練習を重ねてきました。それが3位につながってうれしいです」。「顧問の増田先生の指導で、優勝を目指せるところまでできました。今後も、さらに上を目指したいと思います」。



【空手道】「文部科学大臣杯第64回小学生・中学生全国空手道選手権大会 組手試合個人戦」3位＝青木南似香さん（中1）「小学生のときから全国に出場して、団体での入賞はありましたが、今回の個人入賞はうれしいです。これからは、個人、団体ともに好成績を残せるように稽古します」。